

# 第3回

平成18年1月発行

発行  
多々良川ゆめプラン委員会  
東区役所 企画課  
担当：吉崎、鎌  
電話：092-645-1012  
FAX：092-651-5097



# 多々良川 リバーズスクール ニュース



## 多々良川の自然環境について学びました！

第3回多々良川リバーズスクールが12月23日に、東部水処理センターにて開催されました。

ふくおか湿地保全研究会(代表 服部卓朗さん)のみなさんを講師に迎え、多々良川の自然環境についてのお話しと野鳥等の自然観察会を行う予定でしたが、当日は、冷たい雨が降る、あいにくの天候で、野鳥等の自然観察会ができませんでした。しかし、その代わりに、参加者との活発な意見交換会が行われ、身近に存在する貴重な鳥や魚、植物等のお話を伺うよい機会となりました。

「多々良川に世界的な希少種が飛んでくるのは誇り」、「航空写真にみる土地利用の変化は事実に基づいて説得力があった」、「シロウオは人だけでなく他の生き物が生きるためにも必要なものでもあるのですね」など、参加者からは、多々良川に関わる鳥、魚、自然環境を含めて総合的に知る機会が持て、とても勉強になったとのご意見が多く聞かれました。

次回は、平成18年1月29日に多々良川の活動マップづくりを行う予定です。

## リバーズスクールのこれからの流れ

第1回 11/13(日)  
10:00～12:00  
「多々良川との上手なつきあい方」  
東区役所 講堂

第2回 12/4(日)  
10:00～12:00  
「多々良川の水と私たちの生活」  
多々良浄水場

第3回 12/23(祝)  
14:00～16:00  
「環境保全と野鳥観察」  
東部水処理センター

第4回 1/29(日)  
14:00～16:00  
「活動マップづくり」  
リーセントホテル

第5回 2/25(土)  
14:00～16:00  
「今昔の遊びと今後の活動のまとめ」  
東区役所

番外編 3月頃  
「山を守る」(植林など)  
篠栗町荒田

# 「多々良川の自然環境」について

ふくおか湿地保全研究会の大西さんに、スライドを利用して「多々良川の自然環境」について説明をして頂きました。一方的な説明ではなく、参加者のみなさんに時々質問を投げかけ、対話型の勉強会となりました。

多々良川の成り立ち

- ・地図を使った多々良川付近の変化

多々良川付近の航空写真を年代ごとに比較してみると、田畑が少なくなり住宅地が増えるなど、都市化による自然環境の変化が分かりました。

- ・多々良川の特徴

多々良川は、博多湾へ注ぐ他の河川に比べて、長さはやや短いですが、支流が多いことが特徴です。

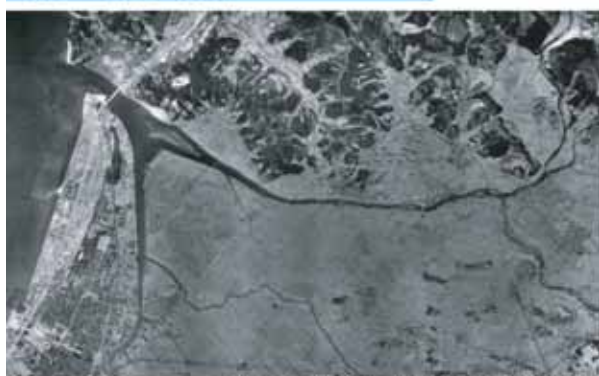
干潟について

干潟とは、主に河口域にできる、潮の満ち引きによって海に浸かったり上がったりする場所のことです。

- ・干潟の底質について

一口に干潟と言っても、底に堆積した物の種類などに違いがあり、すんでいる生き物も変わります。多々良川の干潟は、本流といくつもの支流の働きによって、「砂の多い部分」や「泥の多い部分」が入り混じっているので、それぞれの場所を好む多くの生き物が観察できる貴重な場所となっています。

昭和22年の多々良川



米軍撮影、空中写真閲覧サービス(試験公開)国土地理院より引用

昭和49年



昭和62年



国土画像情報(カラー空中写真)、国土交通省より引用

多々良川の四季～干潟のいきものたち～

- ・1年を通して様々ないきものに出会える

多々良川では四季を通じて様々な動植物に出会えます。夏にはハクセンシオマネキ、冬には世界に1500羽しかいないクロツラヘラサギ、珍客として世界に数百羽しか確認されていないヘラシギやカラフトアオアシシギを見ることができます。

参加者との対話の中での話

- ・クロツラヘラサギはシロウオを捕食しているのではないかな？
- ・野鳥(ユリカモメ)に餌をあげることをどう思うかな？
- ・Q.鳥はいつ寝ているのか A.羽で身体を覆うなどして、休息しているときに寝ているとき。
- ・昔、多々良川でウナギ、手長エビ、ハゼを取って遊んでいたという人もいました。

今回は残念ながら野鳥等の観察会はできませんでしたが、別の機会を設けて、観察会を行いたいと思います。

多々良川の四季 ～冬～



ハマシギについて



積極的な意見交換を行う参加者